

事業名称
母子保健事業

目的	安心して産み育てられる環境づくりをおこなう	対象	・就学までの乳幼児 ・妊婦 ・不妊治療を希望する者
事業概要	○幼児健診事業 ・1歳半・3歳半健康診査……医師や歯科医師の診察、発育発達チェックを行い、疾病の早期発見、子育てへの助言、支援を行った ・母子保健事業(幼児精密)……発達や子育て不安のある親子を対象に、心理士や保育士等が相談に応じ、各種サービスへつないだ ・5歳児すこやか相談会……5歳児を対象にアンケートによる問診を行い、発達に関する相談会を行った ○周産期保健事業: ・母子手帳交付……妊娠から出産、育児までの健康管理手帳で、同時に妊婦・乳児一般健康診査受診票を交付 ・すくすくひろば……生後4～5カ月児と6～7カ月児を対象にベビーマッサージや離乳食などについて学習 ・パパママひろば……妊婦とその夫を対象に妊婦体操やお産の呼吸法、栄養、口腔ケア等について学習 ・赤ちゃん訪問……育児不安の軽減と産後うつ予防、早期発見のため、生後4か月までの乳児に保健師が訪問 ○妊婦乳児健診事業……母子健康手帳交付時に受診券を発行 [①妊婦:14回分、②乳児:3～6カ月と9～11カ月の2回分] ○不妊治療費助成事業……不妊治療を受けている夫婦に一般不妊治療費(5万円/年度)と特定不妊治療費(10万円/年度)を助成 ○愛育会事業……地域に住む親子が集える場を提供するため、豊後大野市愛育会に親子交流事業を委託 ○母子保健事務費……母子保健に関する事務及び小児慢性特定疾患・難病患者等の事業 ○保健センター運営事業……犬飼・大野・千歳・大野保健センター・朝地母子センターの管理運営経費		

69

2. 指標設定

成果指標	指標名		安心して産み育てられる環境づくり		目標年度	H27	指標の設定理由						
	数値		総合計画／後期基本計画において、基本施策(1-2-1)の基本目標としているため										
活動指標	指標	a	教室実施回数		b	健診受診率		c	不妊治療給付件数		d	訪問実施数	
	数値	目標	24回		目標	95%		目標	20		目標		

3. 実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	H 2 2	H 2 3	H 2 4
安心して産み育てられる環境づくり		—	—	—
		—	—	—

活動指標名	単位	H 2 2	H 2 3	H 2 4
a 教室実施回数	回	22 回 91.7 %	24 回 100.0 %	24 回 100.0 %
b 健診受診率	%	90.15 % 94.9 %	91 % 95.7 %	93 % 97.9 %
c 不妊治療給付件数	件	18 件 90.0 %	28 件 140.0 %	22 件 110.0 %
d 訪問実施数	件	252 件 —	252 件 —	277 件 —

4. 課題と対応

課題
教室や健診に未参加のため、家庭状況の把握が難しいケースがある。
対応（改善点等）
教室参加や健診受診を勧め、未受診の方については状況把握に努め、保護者の育児支援を行う、また虐待や要保護状態の早期発見、早期支援につなげる。

5. 事業費・・・H22～H24（決算額）、H25（予算現額）

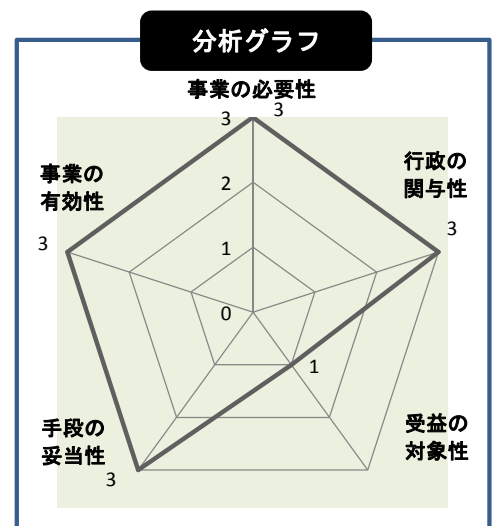
決算額（千円）		H22	H23	H24	H25
うち経常経費		32,279	31,992	32,200	37,351
財源内訳	国費	71	252	100	155
	県費	6,016	7,269	6,449	77
	市債				
	その他	200	434	340	2,720
	一般財源	25,992	24,037	25,311	34,399
	うち経常	25,992	10,119	12,253	34,399
事業費に係る人件費		35,038	26,445	26,192	24,497
事業費に係る人役		8.00	6.15	6.10	5.62

6. H26年度予算の方向性

方向性
前年並
理由
安心して産み育てられる環境づくりのため、母子保健事業を充実させる必要がある

7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3 将来を担っていく子どもを安心して産み育てることが市の総合計画に位置づけられている
② 行政の関与性	責任領域の精査	3 母子保健法により、自治体の責務となっているため
③ 受益の対象性	事業対象の確認	1 母子に限定しているため
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	3 目的達成のためには、現在のところ有効な手段と思われる
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	3 安心して産み育てられるための支援ができてる



8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
継続	啓発活動と併せて、効率的、効果的な事業実施を図ること。公共施設の見直し方針に則り業務を進めるとともに、個別進捗状況の整理を行うこと。